



## ～ 上尾で地震が発生したら!!～

「災害は忘れた頃にやってくる」 日頃よりある程度の準備や心構えが大切になります。いざというときの為に懐中電灯、ラジオ、予備電池、飲料水、非常食（乾パン、缶詰）、非常持ち出品（貴重品、缶切、栓抜き、タオル、ティッシュ、カップ、ヘルメット、ライター等々）をまとめておきましょう。家の中には、寝室・玄関・居間等何箇所かに分けて置いておくと良いといわれています。また、あらかじめ近くの一時避難場所（公園、学校）、広域避難場所（上尾運動公園、丸山公園、平塚公園、浅間台大公園、鴨川中央公園）も確認しておくことも大切です。

## 上尾市における防災状況の概要

### 1、備蓄倉庫

- (1) 全小学校、中学校に設置（全んどの学校には食料品の備蓄はありません。）  
毛布、担架、リヤカー、発電機、救急セット、自転車、炊飯器、スケッチトイレ等
- (2) 上平公園内倉庫
- 食料（アルファ米、おかゆ、ソフトパン、乾パン、クラッカー、飲料水、粉ミルク）
  - 生活用品（毛布、スケッチトイレ、大人・子ども用オムツ、寝袋、ベット担架）
  - 機材（発電機、調理器、浄水器、給水装置、エアーテント、簡易ベッド）
- 参考（19年9月現在）
- 食料品 42,836食（乾パン、アルファ米、クラッカー、ビスケット）
  - 飲料水（ペットボトル13,040本、飲料水兼用防火水槽4箇所 各100トン）
- 非常用飲料水兼用防火水槽の場所
- ①向山 ならのき公園内      ②小泉土地区画整理地 公園内
  - ③上平公園内                      ④愛宕一丁目地内
- 組み立て式トイレ 69基      ○ ポータブルトイレ 263基
  - 使い捨てトイレ12,100個

感想……災害時の自己防衛は大切ですが、現在のところ人口に対して飲料水、食料品の備蓄量が少なく今後の課題と思い、取り組んでまいります。

### 2、地域自主防災組織の状況

災害時には、「自分達のまちは、自分達で守る」という組織で地域住民の方々に設立し、災害時や普段の生活の中で協力しあう組織。

事務区 112                      組織数 108                      市内世帯数 89,130  
組織されている世帯数 83,593      組織率 93.8%

感想……日頃より自主防災組織が実際に機能するか否かをテスト・検証してみることも大切なことと考えています。

6月10日（火）から6月議会が開催されます